

佐藤茂助翁は明治十一年四月群馬縣北甘樂郡黒岩村に生れ同三十二年志を立て石材工業界に入り斯業乃指導開發に一身を盡せ或は機械的操作此工夫に或は優良職工乃養成翁獨特の創造力と義侠心とを發揮せるのみならず更に建築用材をして現今帝都に重きを得なせるも此にして翁乃山谷を跋涉して苦心踏査の結果發見せられあるもの枚挙に遑珂らず

東宮御所横濱税関帝室博物館大藏省新廳舎等多数乃模範的の石造建築物にして翁の關係して心血を注げるも此尠ならず茲に翁の還暦を迎ふる仁方り親友知己並ふその薫陶を受けたる者相圖り壽像を建設して以て謝恩の意を表するものなり

昭和十三年四月建之

縣會議員

田村靜明

書之